

環境報告書 2020



心豊かな
くらしと
共生の社会を
創ります。



生活協同組合 パルシステム茨城 栃木



パルシステム茨城 栃木

組合員活動の取り組み

●テーマ別組合員活動「環境」

テーマ別組合員活動は、当生協の年度方針に基づき「食育・産直・環境・福祉平和国際交流」の4つのテーマのもと、組合員が自発的に活動しています。「環境」では、次世代を担う子供たちに対して環境体験型企画の開催・4Rの啓発・水環境保全企画などに取り組み、多くの組合員が参加しました。

- 潤沼の水環境保全に関する企画／
潤沼生き物観察会(38名参加)、バードウォッチング(21名参加)
- 茨城県森林湖沼環境税活用事業 活用企画／
森林・林業体験 茨城県奥久慈憩いの森(24名参加)
- 石けんの良さを伝える企画／
① イベント出展:8月24日 霞ヶ浦ECOフェスティバル2019
② レッツトライ石けんライブ:なか・みとの2エリアで開催(計54名参加)



▲鳥を観察することで潤沼の自然環境や生態系を学びました。



▲森林のはたらきや自然の豊かさを体験しました。



▲石けん・環境クイズを通してできるだけ排水を汚さない事を呼びかけました。



▲石けんと合成洗剤の違い・洗濯・掃除・食器洗いの4つのテーマで石けんの良さを伝えました。

●生物多様性の取り組み(生き物観察会)



5月

食と緑の交流事業
畑の体験学校
生きもの観察会

組合員親子含む46名が参加し、圃場の中でナナホシテントウなど19種類の昆虫と12種類の植物を見つけました。有機質肥料でたくましく育った野菜の畑は、青虫やアブラムシが出て、必ず天敵の生き物が現れて守ってくれることを実体験から学びました。



6月

食と緑の交流事業
きのこの学校
森の生きもの観察会

両企画で93名が参加しました。ヤマユリなど13種類の植物をはじめ、カブトムシや羽黒トンボなど33種類の昆虫が見つかり、豊かな里山の生態系が保たれていることを確認しました。



6月

食と緑の交流事業
田んぼの学校
生きもの観察会

135名が参加し、カエルやオタマジャクシ、ザリガニ、ゲンゴロウ、トンボ、水蜘蛛、そして今年はホウネンエビを見つけることができました。「ホウネンエビが見つかる田んぼは非常に良い状態で豊作になる」ことを講師から教わりました。



9月

米沢郷牧場
生きもの観察会

43名が参加しました。子供たちは稲刈り前の田んぼに入ってたくさんのイナゴを夢中で追いかけてました。捕まえたイナゴは翌日の昼食に佃煮でいただき、生物多様性だけでなく、食育についても学びました。

環境報告書

発行日：2020年5月(対象期間2019年4月1日～2020年3月31日)

発行：生活協同組合 パルシステム茨城 栃木

連絡先：〒310-0022 茨城県水戸市梅香二丁目1番39号

TEL.029-227-2225 FAX.029-227-2235

<https://www.palsystem-ibaraki.coop/>

